



平成25年度 京都検定講演会【東京】

第2部 15:30～17:30

歴史人物京都学「女たちの京都」

～ 人物を知れば見えてくる“京都の魅力再発見”～

主催：京都商工会議所 協力：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

京都、そしてそれぞれの時代を彩った「女たち」。その女性像を通して、その苦悩や喜び、さらに時代に翻弄された運命を心をこめてたどります。困難な時代を彼女たちはどう生きたのか。時代の文様と彼女たちの人生模様はどのように織りなされたのか。時代を追わず、その織りなされた模様の軌跡をたどりながら講座をすすめていきます。是非、ご参加ください。

コース	開催日	テーマ	講座のポイント
1	4月20日 (土)	新島八重と鹿鳴館時代の京都 “倚りかからず”の倫理 ～「矜持と自立」が織りなす生き方～	会津戦争での敗北と挫折、薩長への怨念と望郷。それとともに京都で生きた新島八重。激しい矜持と夫新島襄の説く「リベラル・アーツ＝自由なる教養」との葛藤と融合。NHK大河ドラマとなった八重の生き方と時代とともに考えます。
2	5月11日 (土)	東福門院和子と“琳派”の時代の京都 華やかなる“美”への思い ～「孤独と栄華」が織りなす生き方～	二代將軍徳川秀忠の息女にして後水尾天皇に入内した和子。朝廷と幕府の権力の均衡をはかるには？ その苦悩のなか和子のとった行動とは？ 江戸初期、京都“芸術ルネッサンス”の美と和子の孤独。和子の「美への思い」について考えます。
3	6月1日 (土)	紫式部と平安文化が織りなす時代の京都 “あはれ”の哀感と“はかなし”の抒情 ～「伶俐と情熱」が織りなす生き方～	紫式部はどんな女性だったのか？ 絢爛で豪華、栄華と権勢の底流に流れる「あはれ」と「はかなし」の情感。心と愛の行き違いと栄達富貴の行く先に仄かに揺らめく煉獄の炎。紫式部の生涯が織りなす人間模様を、現代の視点から考えます。
4	7月6日 (土)	北政所お祢と『太閤記』の時代の京都 “気働き”の知恵と笑い ～「情愛と断念」が織りなす生き方～	藤吉郎の女房にして、秀吉没後は高台院として敬愛された女性。加藤清正や福島正則ら育て、平和を願い、人びとの暮らしに思いをはせるお祢。しかし、その「気働き」の知恵と人好きな笑顔の意味は？ 「高台寺蒔絵」の華麗さとともに考えます。
5	8月3日 (土)	上村松園と大正デモクラシーの時代の京都 “より美しく” “より凛として” ～「繊細と華麗」が織りなす生き方～	明治から大正へ。そして昭和の激動期のなか、一貫して女性の「凛とした美」を描き続けたきた上村松園。京で生まれ、京で育ち、そして京で描いたその生涯を、京都ならではの風物と女性像を織り交せて、考えます。
6	9月7日 (土)	皇女和宮と“ええじゃないか”乱舞の京都 “静かであること”への思い ～「運命と恋情」が織りなす生き方～	1861年(文久2)10月20日、和宮親子内親王は14代將軍徳川家茂との婚儀のため京を出発。ときあたかも攘夷と尊皇が呼号される激動の時代。そのなかで15歳の和宮は何を思ったのか。幕府瓦解と和宮の運命の模様について考えます。

※ 内容は変更になる可能性があります

【時間】 各コース 15:30～17:30

【受講料】 各コース 2,000円 (レジュメ含む)

※ 全コース一括お申込みに限り、お1人様9,600円(2割引)の特別価格となります。

【定員】 各コース 150名 (定員になり次第締め切ります)

【会場】 ①(2・4・5・6コース) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(東京都新宿区市谷八幡町8) JR総武線「市ヶ谷」徒歩3分、東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷」より徒歩5分、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」より徒歩5分

②(1・3コース) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

(東京都港区北青山1-7-15) JR総武線「信濃町」徒歩5分

東京メトロ半蔵門線・銀座線「青山一丁目」、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」徒歩10分

【講師】 八柏 龍紀(やがしわ・たつり)氏

秋田県生まれ。慶應義塾大学法学部・文学部卒。秋田県立高等学校教員を経て上京。その後、大手予備校日本史講師を務める一方で執筆活動を展開。2000年から東京大学駒場キャンパスで自主講座を開講。2010年は非常勤で自由ゼミを担当するなど講座・講演多数。著書には『セピアの時代』(大和書房)、『日本の歴史ニュースが面白いほどわかる本』(中経出版)、『「感動」禁止』(ベスト新書)などがある。

【お申込み方法】

- ①受講料を下記振込口座にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
- ②「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「受講申込書」と「振込金領収証のコピー」を一緒に、郵送もしくはFAXで下記申込先までお送り下さい。

受講料振込口座 京都銀行 本店営業部 普通預金 4085210「京都商工会議所」

【注意事項】

- (1) 受講申込書のご提出と受講料のお振込みをもってお申込み完了となります。「受講証」は開講日1週間前を目処にお送り致します。
- (2) 既に納入いただきました受講料は、定員を超えてご参加いただけない場合や講演会中止のほかは、返金致しかねますので予めご了承ください。
- (3) 原則として本講演会のキャンセル・コース変更は受け付けておりません。代理受講は可能です。ご欠席の場合は資料を後日送付致します。
- (4) 都合により、会場、日程、タイトルの変更がある場合がございます。

【お申込み・お問い合わせ先】 京都商工会議所 会員部 京都検定講習係
 〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル [地下鉄烏丸線「丸太町」6番出口スグ]
 TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail:school@kyo.or.jp
<http://www.kyotokentei.ne.jp/>

-----切-----り-----取-----り-----線-----
 FAX : 075 - 222 - 2612

平成25年度 京都検定講演会[東京開催]
歴史人物京都学「女たちの京都」受講申込書 @2,000.-

[氏名]	ふりがな	[受講料振込] 銀行/信金 支店より (月 日 _____ 円 振込完了)
	漢字	
[希望講座] ご希望コースの□欄にチェックし、合計金額をご記入ください		
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1コース毎のお申込み お1人様 2,000円 ◆ 全コース一括お申込み お1人様 9,600円(2割引) 		
<input type="checkbox"/> G1 (4/20) 新島八重と鹿鳴館時代の京都 <input type="checkbox"/> G2 (5/11) 東福門院和子と“琳派”の時代の京都 <input type="checkbox"/> G3 (6/ 1) 紫式部と平安文化が織りなす時代の京都 <input type="checkbox"/> G4 (7/ 6) 北政所お祢と『太閤記』の時代の京都 <input type="checkbox"/> G5 (8/ 3) 上村松園と大正デモクラシーの時代の京都 <input type="checkbox"/> G6 (9/ 7) 皇女和宮と“ええじゃないか”乱舞の京都		
<input type="checkbox"/> 2,000円×計_____コース受講 合計金額_____円 <input type="checkbox"/> 全コース一括お申込み 合計金額_____円 既納の受講料に関しては返金致しませんのでご了承ください。		
[現住所(お住まい)] 〒 _____		
TEL _____		FAX _____
[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します)		
TEL _____		_____
※上記電話は、 <input type="checkbox"/> 自宅(携帯電話などを含む) / <input type="checkbox"/> 勤務先 です。		

※本申込書にご記入頂いた個人情報(京都商工会議所の検定、講座実施に必要な業務、事務、各種情報提供)のみの目的に利用します。()